

# 民主化闘争情報

No. 965

2017年12月7日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

JR北労組自動車支部は、9月の3名の加入に続き、さらにジェイ・アール北海道バスで働く3名（長沼分会1名と厚別分会1名を10月1日付、手稲分会1名を12月1日付）を組織拡大した。

JR北労組自動車支部全体の連携と、組合員一人ひとりが世話役活動や勉強会開催等に懸命に取り組んできた結果として、JR連合・JR北労組の運動が理解され、この度の加入に至ったものとする。

## 続々加入！世話役活動で3名を拡大！

ジェイ・アール北海道バスにおける過半数をめざし拡大を進める

### 「あるべき労働組合・労使関係像」実現に向け民主化を！

JR北労組への加入の勢いは一時的なものではなく、JR北労組運動およびJR連合・自動車連絡会の取り組みの正当性が、良識ある他労組組合員等にも理解され、確実に広がりを見せつつある。引き続き、JR連合が掲げる「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現に向けて民主化闘争と組織強化・拡大の取り組みを推進していく。

## 今こそ、JR北労組自動車支部が 責任組合となり、組合員とその家族のために 労使でバス産業に関わる政策実現を！

JR連合・自動車連絡会は、JRバス労働界において、JR連合自動車連絡会の政策課題解決能力を発揮していくことが、結果として、組織強化・組織拡大、さらには民主化闘争完遂にも繋がるものと確信している。

JR連合・自動車連絡会は、10月2日・3日、第25回総会を札幌市内で開催した。総会に併せて、国土交通省自動車局の担当者を招聘した研修会・意見交換会を開催するとともに、交運労協の仲間である北海道中央バス労組（交通労連に加盟）にご協力いただき、意見交換および会社施設の見学を実施した。今後、来年1月末、国交省自動車局との意見交換を開催し、JRバス産業の責任産別として現場の声を届けていく。

引き続き、バス産業における政策課題の解決に向けて取り組み、魅力あるバス産業の実現を目指して積極果敢に運動を展開していく。